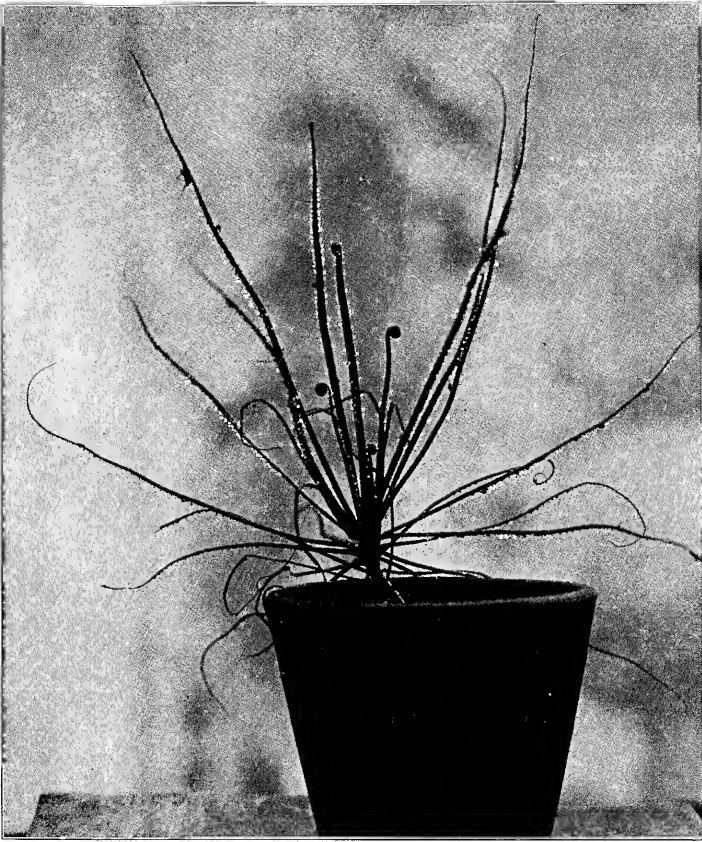


珍貴ナいしもちさうもどき



小石川植物園ニ培養セラレタいしもちさうもどき  
(*Drosophyllum lusitanicum* LINK.)

(大正十四年十月八日舟曳中監君撮影)

推賛サレルシ帝大農學部教授  
農學博士原熙先生ハ一度茹デ  
、後「バター」デイタメタモノ  
ハ素適ナ味ダト激賞シテ居ラ  
レル、外國デモ一時ナカナカ  
盛ンデアッタラシク種々ノ書  
ニ色々ノ使用方法ガ書イテア  
ルガ「サラダ」ニ良ク「フラ  
イ」、「シチュー」、「ピックル」  
ニ良イトシ身ニ餘ル賛辭ヲ浴  
ビセカケラレテ居ル(大正十  
五年二月八日稿)

### ○珍貴ナいしもち

さうもどき

東京、小石川植物園 松崎直枝

いしもちさうもどき(新稱)  
ハいしもちさう科ノ中デ特ニ

珍貴ナモノデ何時カカラ欲シイト思乍ラ機會ガ來ズニ居タ、所ガ小石川植物園デハ丁度大正十四年三月ニ葡<sup>ポルトガル</sup>國コイムブラ植物園カラ種子ヲ送付シテ貰ッタノガ播イテカラ三十四日目ニ發芽シタノヲ初メトシテ其後多少發芽シタ、夫レガ今茲ニ掲グル寫眞ノモノデアルガ不幸ニシテ今ハ全ク枯死セシメ其片影ダニ生品トシテ見ル事ガ出來ナク只空シク死兒ノ齡ヲ數ヘルノ愚ヲ學ブニ過ギナイ有様トナッタ、然シ其標本ト寫眞トデソノ面影ヲ殘シタバカリデナク又多少ノ栽培上ノ經驗モ得タノヲセメテモノ心ヤリニシテ居ル



花ノ上同

(大正十五年六月二十一日南農中園君撮影)

知ラレテ來タ、其學名ヲバ *Drosophyllum lusitanicum* Link. ト稱スル、ダーウキン氏ノ食蟲植物論ノ書ニハ其捕蟲ノ研究ガ出テ居ル、種名 *lusitanicum* ハルシタニアカラ來タモノデ此ルシタニアハ今日ノ葡國即チポル

珍貴ナいしもちやつもどや

元來此草ハ葡國毛氈苔 (Portuguese Sundew)

ト呼レテ居ル位デ葡國ヲ中心トシテ南イスパニア及ビ北亞弗利加ノモロッコ以外ニハ分布シテ居ラナイモノデアル前記ノコイムブラ植物園ハ此草ニトリテハ歴史のノ處デ此處カラ送り出サレタ種子カラ萌出シタモノガ英國キウ植物園デハ千八百六十二年四月ニ開花シタノデ之レヲ「ボタニカル、マガジン」ノ第五千七百六十九圖版ニ着色ノ寫生圖ヲ掲ゲフツカー氏ノ説明ガ加ヘラレテ一般ニ紹介セラレテカラ此歐洲ノ一角ニノミ生育スル食蟲植物ガ多クノ人ニ

トガルト今日ノイスバニアノ一部トラ合セタ古ヘノ國名デア

植物學上カラハ寫眞デモ見ラレル様ニ其葉ノ外捲スル事ガ特別ノ事項ナノデフツカ博士モ「植物界唯一ノ例ダ」ト説カレテ居ルノヲ見テモ形態上カラ面白イモノデアラウシ尙其他ノ近縁ノモノデハ葉ノ表面ニ腺毛ヲ持ツテ粘液物ヲ分泌シテ居ルガ此レハソレ等ニ反シテ葉ノ裏面ニ毛ヲ持ツテ居ル、然シ果シテ素人觀察ノ様ニ夫レガ科學上ノ眞ノ裏面デアルカドウカハ自分ノ能ク知ル所デハナイトシテモ只裏面ノ様ニ見受ケラレル事ハ事實デア、而シテ此粘液ヲ持ツタ毛ハ小花梗ハ言フニ及バズ更ニ萼片ニ迄及ンデ居ル、外觀ハ初メハ一寸北米産ノ絲葉毛氈苔 (*Drosera filiformis* Raf.) ノ様ニモ思ハル、節ガナイデモナイガ次第ニ莖ヲ地上ニ抽キ出スノデ全ク異ツタ趣キニナツテ來ル

線狀葉ノ長サハ五六吋内外ニ伸長シ地上カラ二三寸ノ木質莖上ニ叢生スル、葉上ニ生ジテ粘着性物質ヲ出ス小腺毛ハ葉ノ基部ニハ認メナイガ先端マデ密生シテ居リ腺ハ紫色デア、此腺毛ハ毛氈苔ノ如クニ昆蟲ヲ捕ヘタ後ニ漸次運動ヲ起スヤウナ事ハナイ、此等ノ諸點ハ毛氈苔ナドト異ツテ居ルガ第一其自生地ノ狀態モ彼等ハ濕地ニ生ズルニ拘ハラズ此ハ乾燥シタ砂質壤土デシスツス屬ノモノト混生シテ居ルト云フノカラ考ヘテモ其生育ノ狀態ガ可ナリ特別デア、モノト見エル、花ハ黃色五瓣ノ美花デア、ルガ惜イ哉一日限リデ凋ンデシマウ

栽培ハ甚ダ困難ダト云フ事ニ從來カラ定評ガアルガ私ノ扱ツタノハ今ハ失ツタニシテモソレヲ開花セシメタダケデモ先ヅ自分トシテハ好結果デアッタと思ツテ居ル、結實ハアッタガ十分ニ肥熟セナカッタセイカ發芽セシメ得ナカッタ、第二回目輸入ノ種子カラハ百幾本ノ苗ヲ作ツタガ此レハ移植後不幸ニシテ總テ枯死セシメテ了ツタ苦シイ經驗ガアル

今迄内地ニ一度モ輸入シタ事ノナカッタ一珍貴ノ食蟲植物ノ一種ヲ培養シタ紀念トシテセメテ世ノ好事家ノ爲メニ寫眞ヲ掲ゲテ其眞景ヲ掬シテ貰ヒタイト思フ